

# 1 ツボミガイ

(コガモガイ科)

兵庫県ランク:C

*Patelloida conulus*

環境省ランク:NT

## 種の概要

殻口径は5~7mmほどになり、円形または円形に近い楕円形で、殻頂は高い。殻表面は布目彫刻と放射状彩や網目模様があるが、浸食されていることも多い。宮城県以南の内湾奥部や河川汽水域の干潟に生息する。本種は岩礫に付着することはほとんどなく、ウミナナやホソウミナナの貝殻表面、小石といった面積の狭い基盤に付着する。

## 主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○				○

## 県内分布

高砂市、姫路市、たつの市、赤穂市、洲本市、南あわじ市

## 県内における生息状況及びその他特記事項

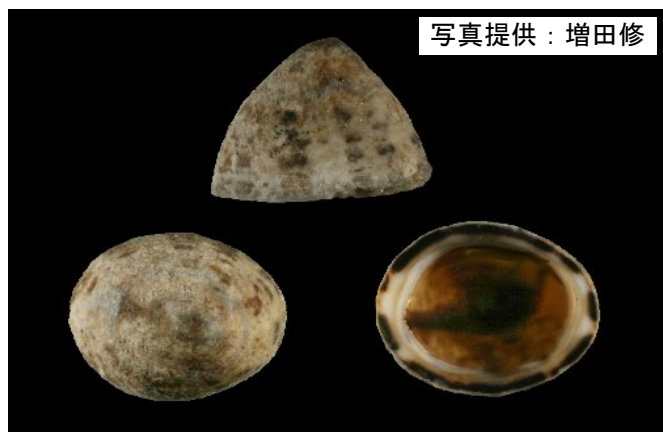
新規追加種。県内では瀬戸内海流入河川、淡路島中部、南部に分布し、河川汽水域の砂礫や砂居泥床に生息するウミナナやホソウミナナの殻上、小礫などに付着している。良好な干潟の残存する播磨西部と淡路中部、南部では比較的生息数が多いが、干潟環境の悪化が進行する現在、環境変化に対し注視する必要がある。

## 保護上の留意点

神戸・阪神、播磨東部での干潟環境の少なさや状況を見る限り、生息基盤のウミナナ類の存在が弱小である。幸いにも播磨西部と淡路中部、南部では比較的生息箇所や生息数が多いので、ウミナナ類の生息する干潟の埋め立てや護岸工事などによる消失を避ける。



写真提供：増田修



写真提供：増田修

【執筆者】 増田修